

夕張市議会だより

2014年8月1日

第26号

議会運営委員会

平成26年第2回定例市議会

第2回定例市議会は、平成26年6月11日から19日までの9日間を会期として開催されました。

付議されたものは、議案8件・報告8件に加え、追加議案3件・報告1件・意見書案4件の審議を行いすべて原案通り可決いたしました。

議案

- ◎ 夕張市財政再生計画の変更について
- ◎ 夕張市国民健康保険条例の一部改正について
- ◎ 夕張市火災予防条例の一部改正について
- ◎ 工事請負契約の締結について（普通河川プロトマチヤンベツ川災害復旧工事）
- ◎ 財産の取得について（除雪ドーザー1台・消防ポンプ自動車1台の計2件）
- ◎ 夕張市土地開発公社の解散について
- ◎ 夕張市固定資産評価委員会委員の選任について

【追加議案】

- ◎ 平成26年度夕張市一般会計補正予算
- ◎ 平成26年度夕張市診療所事業会計補正予算
- ◎ 夕張市農業委員会委員の推薦について

報告

- ◎ 平成25年度夕張市一般会計繰越明許費繰越額の報告について
- ◎ 平成25年度夕張市土地開発公社事業報告及び決算報告について
- ◎ 定期監査の結果について（2件）
- ◎ 例月現金出納検査の結果について（平成25年度2月・4月及び平成26年度4月）

意見書

- ◎ 「手話言語法（仮称）」の制定を求める意見書
- ◎ ウイルス性肝炎患者に対する医療費助成の拡充を求める意見書
- ◎ 二〇二〇年東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた環境整備及び地域における取り組みへの支援を求める意見書

◎ 微小粒子物質（PM_{2.5}）に係る総合的な対策の推進を求める意見書

一般質問の内容と答弁

熊谷桂子議員質問

財政再生計画と市民参加のまちづくりについて



■質問

（一）財政破綻の際の、国の責任、道の責任について、どのように認識されているのか。また、国・道の責任について、情報公開と説明責任があると考え、どのように考えるか。

（二）国・道・市が責任を果たしつつ、若者が定住できるまちづくりを進めるには、市民が参加し、継続して議論ができる場と再生計画の期間短縮を進めることが必要

ではないか。
《質問趣旨》

子育て世代人口減少の問題、職員の疲弊の問題、自治意識の劣化の問題を解決するためには、「子育て・教育・文化」政策の充実に向け抜本的な改革と、「財政再生計画の期間の短縮」とが必要不可欠と考える。

■答弁

（一）財政破綻の際の国・道の責任について、財政再生計画の中に記述もあるが、夕張市の破綻に関しては、炭鉱閉山による人口の急減や、石炭産業に代わる観光振興、住宅や教育・福祉対策など、多額の財政支出を行ったことなど様々な要因が絡み合っている要因は様々ではない。

国・道も責任を感じる中で、今後どうしていくのかというのが現在の状況。

本年5月19日の決算委員会の中で、新藤総務大臣が「国も道も市も含めて私たち行政サイドの責任でもある」と述べている。そういった当事者が責任を感じて、この問題を何とか解消していかなくてはならないということを、三者が共に認識を持つ中で、

ご意見・ご感想をお寄せください

夕張市議会事務局
本町4丁目市役所内
電話 4頁に記載

■編集委員

委員長 司子彦文二
委員 厚谷桂達尚修
委員 熊谷島小林大
副委員長 委員 委員 委員

夕張市議会では議会の活動を多くの市民の皆様にお伝えするために、「議会だより」を発行しています。また、市役所本庁・南支所及びふれあいサロンにも配布しております。

取り組みを打ち出し、再生を加速させていくことが今求められているというふうに思っている。

今後とも財政の再建と地域の再生に向けて、国・道の助言や支援のもとで着実にそれを実施していく。

(2) 市民参加の場の設置については、このたび指定された国の地域活性化モデルケースは、今後スピード感を持った対応が求められるということが想定されている。

本市が取り組んできたコンパクトシティ等の地域再生の取り組みが更に加速できるように、市民・議会の皆さんとともに全市をあげて取り組んでいくことが極めて重要。

現状の取り組みを最大限活用していくなど、(国) 具体的スケジュールの提示をふまえながらそういった(市民) 参加の場も検討していきたい。

若者定住策については、まちづくりマスタープランに基づき、子育て環境充実を含めたコンパクトなまちづくりを推進しているところ。三者協議でも定住政策の一環として事業を進める方向性を三者が共有した。コンパクトシティの実現に

より、人口流出の歯止めの効果を期待したい。複合的な要素が必要。

財政健全化を着実に進めながら市民の皆さんの思いを大切にしながら希望の持てるまちづくりを加速していきたい。

小林尚文議員質問

子ども・子育て支援について



■ 質問

(1) アンケート調査、結果について

《質問趣旨》

今回のアンケート調査の回収率が過半数を下回ったことについて、どのように受け止めているのか。また、未回答者の様々な問題や意見を拾うような補完的な対応も必要と考えるが、市長の考えを伺う。

(2) 子育ての環境をどのように整備しようとしているのか

《質問趣旨》

夕張市において若い女性の減少率が管内でトップであり、二〇四〇年には「20代から30代」の女性が一〇〇人になると報道されているが、このことに歯止めをかける雇用対策や子育て環境の充実が急務であり「子ども・子育て会議」を踏まえ、整備をどのように進めていくのか、市長の考えを伺う。

■ 答 弁

(1) 今年の1月から3月にかけて、中学生以下の子どもがいる全世帯の保護者の皆様に、子育てに関するアンケート調査を実施し、取りまとめたところ。

しかし、その回収率は45・7%であり、過半数を下回った。その要因として質問が複数ページに渡り項目も20問を超え、時間を要することが回収率に影響したと考えるが、貴重なご意見として「子ども・子育て支援事業計画」の策定を進めて参りたい。

また、提出できなかった皆様に対する補完的な対応については、「夕張市子ども・子育て会議」を設置する予定であり、保護者や委員の皆様から意見を伺って参りたい。

さらには、「市長と話そう会」や「ふれあいトーク」など、地域の皆様の声を聞く場を設けさせていただいており、子どもの居場所づくりに係る意見・要望などをいただいているところ。

現在、活用が決まった旧のぞみ小学校のグラウンドや体育館などを地域へ開放していただけるよう活用事業者と協議をしている。

(2) 子育て環境の今後の整備については、子どもを産む中心世代の減少率が全道で3番、全国で7番目という試算に衝撃を受けたところ。

働く場所の確保や定住対策などを加速する必要があると考える。また、アンケートの意見として「放課後や休日に親子が安心して集まれる場所」さらには、医療機関、安全な公園、保育サービスの充実などの意見をいただき、それを「課題」と捉え整備に取り組んで参りたい。

厚谷司議員質問

夕張市地域活性化モデルケースについて

■ 質問

(1) 夕張市の提案内容について



(2) 市の特殊事情についてはどうモデルケースに盛り込んでいこうと考えるか。

(3) 現時点において全市民的(市民・議会)な取り組み体制をどう考えるか

■ 答 弁

(1) 地域活性化モデルケースについては、本年1月に政府に設置された「地域活性化の推進に関する関係閣僚等会合」において、地方における新たな活力ある地域づくりのためのビジョンを提供しその具体化を図ることとされ、本年3月下旬、2つのテーマについて募集が行われたところ。

本市においては、「超高齢化・人口減少社会における持続可能な都市・地域の形成」のテーマに対し、財政再建とともに取り組む地域再生の柱であるコンパクトシティの実現に向け、これまで実施した公共施設等の廃止、小中学校の統合、住民移転を伴う

住宅再編事業を紹介し、あわせて今後の取り組みとして◎住宅再編による居住エリア整備◎生活サービス機能の都市拠点への集約◎地域公共交通ネットワークの構築、などの取り組みのほか、◎まちの魅力を高める地域活性化の切り札として期待されるCBMをはじめとした地域資源の地産地消の実現に向けた取り組みを進めていくことを提案したところ。

さらに、これらの取り組みは、今後、本市と同様に人口減少や高齢化の進展に直面する多くの自治体のモデルになるものであることも併せて提案を行ったところ。

本市の提案は、本年5月29日の「地域活性化の推進に関する関係閣僚等会合」において、地域活性化モデルケースに選定されたところであり、本市の取組内容のみならず他の自治体への波及効果などについて、政府によって一定の評価がいただけたものと受け止めている。

今後、政府において示される具体的なスケジュールや支援内容等を踏まえ、このモデルケースの実施を通し、しっかりと取り組んでいきたいと

考えている。

(2) 夕張市の特殊事情を踏まえ、全道一、少子高齢化、人口減少が進んでいる状況にあること、特に、これから担う次世代が、このまちで仕事をし、安心して子どもを育てていくことが描ける環境整備を加速させることが重要であると考えており、このことが、持続可能なまちづくりの根底であり、今後予定されている国とのワーキングの場に向け準備を行い、しっかりと議論していきたいと考えている。

(3) この地域活性化モデルケースの実施を通じて全市民的（市民・議会）な取り組みを展開することは、コンパクトシティの実現など地域再生に



向けた取り組みを加速させるためにも重要であり、しっかりと取り組んで参りたいと考えている。

現時点において、政府から具体的なスケジュールや支援内容等は明らかにされていないが、今後、勉強会なども開催し、提案内容の情報共有に努め、本市の再生に向けた取り組みがさらに加速できるよう、全市を挙げた取り組み体制を作りたいと考えている。

角田浩晃議員質問

医療体制について



質問

(1) 夕張市医療保健対策協議会の答申を受け、今後の対応策をどのように考えているのか

《質問趣旨》

夕張市医療保健対策協議会から答申があり、診療所の移転改築は10年程度先送りになったが、この間の協議会

委員や市民の声として、現在の医療に対する要望もあつたものと認識している。

特に地元医師会と市立診療所との連携、市外の中核病院との連携、さらに町内会を中心とした住民連携が重要であると考えるが、今後どのような対応をしていくのか。

■ 答 弁

(1) 市立診療所と市内医療機関との連携については、入院や専門医療のほとんどが市外の医療機関に依存している中で、市内で唯一の入院治療を担う市立診療所の病床利用など、市内医療機関との連携を促進して、市民一人ひとりが市内医療機関を身近に感じられる情報発信に努めている。

財政再生計画について

■ 質問

(1) 財政再生計画の期間短縮に向けた取り組みとは、どのようなことか

《質問趣旨》

財政再生計画の期間短縮について、市長は就任以来、繰り返し発言してきたところであるが、その具体策についてこれまで説明がされていない状況である。本年第1回

定例市議会・行政常任委員会（予算審査）においても説明がされず、全委員による付帯決議が出され、財政再生計画の期間短縮についての考え方を示すよう求めているところ。

これらの経過を踏まえ、財政再生計画の期間短縮についてあらためて、市長の考え方を確認するもの。

■ 答 弁

(1) 財政の再建と同時に、市民が将来に向けて希望を持てるまちづくりを進めていくことが重要であると考えている。

期間短縮を破綻の責任問題（棒引き論）と結び付けて考えている方もいるが、私の期間短縮に対する考え方は、財政再生計画を反故にするものではなく、財政振替特例債の元金・利子は計画を基本として償還していくことにある。

国・道などの制度を最大限活用しながら、夕張市の事業を加速させていく中で、結果として期間短縮に繋がっていきたいと考えている。

夜間議会を 開催しました

日程2日目、6月12日は「夜間議会」として、本会議は午後6時30分開会として行われました。

これは夕張市議会基本条例（第6条第5項）において、傍聴機会の拡大を図り、多くの市民の皆様が議会と市政に関心を寄せて頂けるよう、年1回以上夜間議会を実施することとしております。

この日、傍聴に来られた方は39名でした。会議へのご参加に心から感謝申し上げます。



議員研修会を 開催しました

6月25日（水）に、議員研修会を行いました。

この日は、東京財団研究

員・早稲田大学マニフェスト研究所客員研究員で、元栗山町議会事務局局長の中尾修氏を講師にお迎えしました。

中尾氏は平成25年から「夕張市議会基本条例サポーター」を務めて下さっており、今回は夕張市議会基本条例制定1年の活動内容を確認するために行われたものです。中尾氏からは

「達成度に対する議会としての評価は必要で、運用状況を市民に知らせること、情報発信をすることによって、さらに条例への意識を高めることができる。」

「議会は地域の経営の一翼を担っているのだということをお忘れず、市民自治をリードすべき。」

「今は中学校の『公民』の教科書にも『政治への市民参加』が掲載される時代。市民参加を促す取り組みが求められており、その努力を地道に積み重ねて欲しい。」

「議員自らが討論能力を高め、積極的に情報を公開するような覚悟がなければ、住民の関心は高まらない。など、今後の議会活動に対するご助言を頂いたところです。」

また同日、東京財団研究員兼政策プロデューサーの吉原祥子氏から「日本の土地制度の課題」〜次世代に地域の土地・水・森を適切に引き継いでいくために〜と題した講演も受けたところです。



議会行事報告抜粋

総務省・国会議員要請



5月15日、16日の両日東京都において、稲津久衆議院議員及び渡邊孝一衆議院議員並びに総務省岡崎浩巳総務事務次官ほか関係国会議員を市長とともに議長が訪問し、夕張市の現状を報告するとともに支援を要請しました。

全国・全道議長会関係

- 平成26年度北海道市議会議長会道央支部協議会に正副議長が出席しました。（4月10日・赤平市）
- 第77回北海道市議会議長会定期総会・研修会に正副議長が出席しました。（4月24日〜25日・函館市）
- 北海道市議会議長会中央実行運動に、議長が北海道市議会議長会選出の全国市議会議長会理事として

に参加しました。（5月27日・東京都）

- 第90回全国市議会議長会定期総会に議長が出席しました。併せて平成26年度役員改選により理事に議長が選任されました。（5月29日）

●全国市議会議長会で皇居に参内し、宮殿「豊明殿」において、天皇陛下に拝謁（はいえつ）し、陛下よりお言葉を賜りました。（5月30日）



議会事務局の電話番号は

52-3172

です。なお、事務局職員が不在となる場合がありますので、その際は、恐れ入りますが、市役所代表電話

52-3131

までお願いいたします。